




Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

[コンピューターでの作業](#)
[部品の追加および交換](#)
[仕様](#)
[Diagnostics \(診断\)](#)
[パスワード](#)
[セットアップユーティリティ](#)

メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピューターを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 手順に従わない場合は、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性があることを示しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

Dell™ n シリーズコンピューターをご購入いただいた場合は、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

この文書の情報は、事前の通知なく変更されることがあります。
© 2009 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書で使用されている商標について: Dell および DELL ロゴ、Latitude、TravelLite、Wi-Fi Catcher、および ExpressCharge は Dell Inc. の商標です。Intel、Pentium、Celeron、Intel Atom、および Core は Intel Corporation の商標または登録商標です。Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、デルは許可を得て使用しています。TouchStrip は、Zvetco Biometrics, LLC の商標です。Blu-ray Disc は、Blu-ray Disc Association の商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、MS-DOS、Aero、Windows Vista、および Windows Vista スタートボタン は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Adobe および Adobe ロゴ、Adobe Flash Player は Adobe Systems Incorporated の商標です。

本書では、上記記載以外の商標および会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

2009 年 9 月 Rev. A00

[目次に戻る](#)

セットアップユーティリティ

Dell™ Latitude™ E5400 サービスマニュアル

- [セットアップユーティリティの起動](#)
- [起動メニュー](#)
- [ナビゲーションキーストローク](#)
- [セットアップユーティリティメニューオプション](#)

お使いのコンピューターでは、次の BIOS、およびシステムセットアップオプションを使用できます：

- 1 <F2> を押してシステムセットアップにアクセスする。
- 1 <F12> を押して 1 回限りの起動メニューを表示する。
- 1 <Ctrl> + <P> を押して、Intel® AMT 設定にアクセスする。

セットアップユーティリティの起動

<F2> を押してセットアップユーティリティを起動し、ユーザー定義が可能な設定を変更します。このキーを押してもセットアップユーティリティが起動しない場合は、キーボードの ライト が最初に点灯した時に <F2> を押します。

起動メニュー

Dell™ ロゴが表示されたときに <F12> を押すと、コンピューターで有効な起動デバイスの一覧がある一回のみの起動メニューが表示されます。Diagnostics (診断) および Enter Setup (セットアップユーティリティの起動) オプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、コンピューターに取り付けられている起動可能なデバイスによって異なります。特定のデバイスで起動する場合や、コンピューターの診断を表示する場合に、このメニューは便利です。この起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は変更されません。

ナビゲーションキーストローク

以下のキーストロークを使用してセットアップユーティリティ画面を切り替えます。

ナビゲーションキーストローク	
動作	キーストローク
フィールドの展開と折りたたみ	<Enter> キー、左、または右矢印キー、+/- キー
すべてのフィールドの展開または折りたたみ	< >
BIOS の終了	<Esc> - セットアップを続行、保存して終了、変更を破棄して終了
設定の変更	左、または右矢印キー
変更するフィールドの選択	<Enter>
修正のキャンセル	<Esc>
デフォルトへのリセット	<Alt><F> または Load Defaults (デフォルトの読み込み) メニューオプション

セットアップユーティリティメニューオプション

以下の表にセットアップユーティリティ BIOS のメニューオプションを示します。

全般	
オプション	説明
	このセクションでは、コンピューターの主要なハードウェア機能を記載します。このセクションには、設定可能なオプションはありません。
システム 情報	1 システム情報 <ul style="list-style-type: none">○ BIOS バージョン○ サービスタグ○ アセットタグ○ 所有者タグ
	1 メモリ情報 <ul style="list-style-type: none">○ インストール済みメモリ○ 使用可能なメモリ○ メモリスピード○ メモリチャンネルモード○ メモリテクノロジー○ DIMM A サイズ○ DIMM B サイズ
	1 プロセッサ情報 <ul style="list-style-type: none">○ プロセッサのタイプ○ コア数○ プロセッサ ID○ 現在のクロックスピード○ 最小クロックスピード○ 最大クロックスピード
	1 デバイス情報 <ul style="list-style-type: none">○ プライマリハードドライブ○ セカンダリハードドライブ○ システム eSATA デバイス

	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビデオコントローラー ○ ビデオ BIOS バージョン ○ ビデオメモリ ○ パネルタイプ ○ ネイティブ解像度 ○ オーディオコントローラー ○ Wi-Fi デバイス ○ 携帯電話デバイス ○ Bluetooth デバイス ○ ワイヤレス USB デバイス
バッテリー 一情報	プライマリバッテリーとメディアベイバッテリーの状態を示します。コンピューターに接続されている AC アダプターの種類を示します。
起動シ ーケンス	<p>コンピューターは、この一覧で指定されたデバイスのシーケンスから起動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 ディスケットドライブ 1 USB ストレージデバイス 1 CD/DVD/CD-RW ドライブ 1 内蔵 HDD (IRRT) 1 (セカンダリ HDD 名) 1 オンボード NIC <p>この一覧は、起動するオペレーティングシステムを見つける場合、BIOS がデバイスを検索する順番を指定するものです。起動の順番を変更するには、リストで変更するデバイスを選択し、上/下矢印をクリック、またはキーボードの PageUp/PageDown キーを使って、デバイスの起動の順番を変更します。チェックボックスのチェックを外すと、起動デバイスの選択を解除できます。</p>
日付/時 間	現在の日付と時間設定を表示します。

システム設定	
オプション	説明
メモ:	システム設定グループには、内蔵システムデバイスを設定するオプションも含まれています。(お使いのコンピューターおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります)
SATA Operation (SATA 操作)	このオプションは、内蔵 SATA ハードドライブコントローラーの操作モードを設定します。設定は、Disabled (無効)、ATA、AHCI、または IRRT のいずれかを選択します。 デフォルト設定: IRRT
その他のデバイス	チェックボックスを使用して、以下のデバイスを有効/無効にします。 <ul style="list-style-type: none"> 1 eSATA ポート 1 外部 USB ポート 1 マイク デフォルト設定: すべて有効
Latitude ON	チェックボックスを使用して、以下のデバイスを有効/無効にします。 Enable Latitude ON (Latitude ON を有効にする) = Latitude ON ボタンを押すと、Latitude ON が使用可能になります。 Use instant on mode (インスタントオンモードを使用) = コンピューターの電源が切れている、またはハイバーネイトモードの場合に Latitude ON ボタンを押すと、Latitude ON がすぐに使用可能になります。インスタントオンモードでは、Latitude ON が常に使用可能になるよう、少ないバッテリー電力で動作しています。インスタントオンモードを使用しない場合、Latitude ON は起動するのに 1 分かかりますが、電源をオフにしていればバッテリー電力は使用しません。
キーボードライト	このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを選択します。Disabled (無効)、Auto ALS and Input (自動 ALS と入力)、および Auto Input Only (自動入力のみ) という 3 種類の設定があります。 デフォルトの設定: Auto ALS and Input (自動 ALS と入力)
USB PowerShare	このオプションは、USB PowerShare 機能の動作を設定します。チェックボックスを使用して、この機能を有効/無効に設定します (デフォルト設定は無効に設定)。0%、3%、10%、25%、50%、75% のいずれかに設定します。
USB PowerShare モード	モード A、またはモード B のいずれかを選択します。 デフォルトではモード A が設定されています。モード A でデバイスの充電ができない場合は、モード B を試してみてください。

ビデオ	
オプション	説明
環境光センサー	ALS を有効に設定すると、周辺の環境光の量に応じてシステムの LCD パネルの輝度を自動的に変更することができます。 デフォルト設定: Disabled (無効)
LCD 輝度	このオプション (オンバッテリーとオン AC用にスライダーバーで表示) は、橙色ライトセンサーがオフの場合、パネルの輝度を設定します。

セキュリティ	
オプション	説明
管理者パスワード	<p>このフィールドで、管理者 (admin) パスワード (セットアップ用パスワードと呼ばれる場合もあります) を設定、変更、または削除します。管理者パスワードを使用して、様々なセキュリティ機能を有効に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 セットアップユーティリティの変更を制限します。 1 <F12> 起動メニューに一覧表示する起動デバイスを Boot Sequence (起動シーケンス) フィールドで有効化したデバイスに制限します。 1 所有者、およびアセットタグの変更を禁止します。 1 起動中にパスワード入力を指示するダイアログが表示された場合、システムパスワードを置き換えます。 <p>パスワードの変更はただちに有効になります。</p>

	<p>メモ: 管理者パスワードを削除すると、システムパスワードも削除されます。また、管理者パスワードを使用して HDD パスワードを削除することもできます。つまり、システム、または HDD パスワードがすでに設定されている場合は、管理者パスワードを新しく設定することはできません。システムおよび/または HDD パスワードと組み合わせで使用する場合は、最初に管理者パスワードを設定してください。</p>
システムパスワード	このフィールドで、システムパスワード(以前の「プライマリ」パスワード)の設定、変更、削除を行います。
内部 HDD パスワード	システムの内部ハードディスクドライブ(HDD)のパスワードの設定、変更、削除を行うフィールドです。パスワードの変更はただちに有効になります。システムの再起動が必要です。HDD パスワードはハードドライブにとともに移動するので、HDD を別のシステムにインストールしても、パスワードで保護されます。
セカンダリ HDD パスワード	システムの内部セカンダリハードディスクドライブ(HDD)のパスワードの設定、変更、削除を行うフィールドです。パスワードの変更はただちに有効になります。システムの再起動が必要です。HDD パスワードはハードドライブにとともに移動するので、HDD を別のシステムにインストールしても、パスワードで保護されます。
パスワードのバイパス	このオプションにより、システムの再起動、または待機状態から再開する場合に、システムや内部 HDD パスワードをバイパス(迂回)することができます。 無効、再起動のバイパス、再開のバイパス、再起動 & 再開のバイパス のいずれかを設定します。
	オフの状態から電源を入れると(コールドブート)、設定したシステムと内部 HDD パスワードの入力を指示するダイアログが表示されます。
パスワードの変更	管理者パスワードが設定されている場合、システムと HDD パスワードの変更を許可するか否かを指定するオプションです。チェックボックスを使って、変更を許可/または不可に設定します。
TPM セキュリティ	<p>このオプションで、Trusted Platform Module (TPM) を有効に設定し、オペレーティングシステムに TPM の存在を報告(表示する)かどうか指定します。無効に設定すると(チェックボックスがチェックされていない)、POST 中に TPM は起動しません。TPM は機能しなくなり、オペレーティングシステムに存在が報告されません(見えなくなります)。有効に設定すると(チェックボックスがチェックされている)、POST 中に TPM がオンに設定され、オペレーティングシステムによって使用できるようになります。</p> <p>メモ: このオプションを無効に設定しても TPM の設定が変更されたり、保存されている情報やキーが削除・変更されることはありません。単に TPM を隠し、使用できないようにするだけです。TPM をもう一度有効に設定すると、無効にする前の設定とまったく同じように動作します。</p> <p>TPM を有効に設定(チェックボックスにチェックが入っている)すると、利用可能な設定は、アクティベート解除、アクティベート、クリアになります。</p> <p>TPM がアクティベート解除モードの場合、TPM のリソースを使うコマンドを実行したり、保存済みのオーナー情報にアクセスすることはできなくなります。</p> <p>クリア設定を使用して TPM に保存したオーナー情報を消去することができます。オーナー認証データを紛失、または忘れた場合、この設定を使用すれば、TPM をデフォルト状態に戻すことができます。</p>
Computrace®	<p>このフィールドで、オプションの Computrace ソフトウェアの BIOS モジュールインターフェースをアクティベートしたり、無効に設定したりできます。アクティベート解除、無効、アクティベートのいずれかの設定を選択します。</p> <p>アクティベート、または無効オプションを選択すると、この機能が永久にアクティベート、または無効に設定され、後で変更できなくなります。</p>
CPU XD サポート	プロセッサの XD(Execute Disable)モードを有効、または無効に設定するフィールドです。チェックボックスを使って、機能を有効、または無効に設定します。
	デフォルト設定: 有効
管理者以外のユーザーによるセットアップ変更	管理者パスワードが設定されている場合、セットアップオプションへの変更を許可するか否かを決定するオプションです。無効に設定すると、セットアップオプションは管理者パスワードによってロックされます。セットアップのロックを解除しなければ、修正することはできません。このチェックボックスを使用して、システムセットアップの Wi-Fi Catcher Changes(Wi-Fi Catcher の変更)/ Wireless Switch Changes(ワイヤレススイッチの変更)へのアクセスを許可/禁止します。

パフォーマンス	
オプション	説明
マルチコアサポート	このチェックボックスを使用して、CPU のマルチコアサポートを有効/無効に設定します。
Intel® SpeedStep	このチェックボックスを使用して、CPU を有効/無効に設定します。

電力管理	
オプション	説明
ウェークオン AC	AC アダプターを差し込むと、オフ、またはハイバネーション状態からコンピューターがウェークになる設定を有効/無効にする場合、このチェックボックスを使用します。
オートオンタイム	このフィールドで、システムを自動的に起動する時間を設定します。 無効、毎日、指定曜日 のいずれかに設定できます。
	デフォルト設定: オフ
USB ウェークサポート	このチェックボックスを使って、USB デバイスが待機モードからシステムをウェークアップする機能を有効/無効に設定します。
	この機能は、AC 電源アダプターを接続している場合のみ、有効になります。待機モードで AC 電源アダプターを外した場合、バッテリーの電力を節約するため、BIOS がすべての USB ポートへの電力を停止します。
ウェークオン LAN/WLAN	<p>このフィールドでは、オフ状態から特殊な LAN 信号でトリガされた場合、あるいはハイバネイト状態から特殊なワイヤレス LAN 信号でトリガされた場合、コンピューターを起動させるよう設定できます。待機状態からのウェークアップ機能は、この設定に影響されません。オペレーティングシステムで有効に設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 無効 — LAN、またはワイヤレス LAN からウェークアップ信号を受信しても、システムは起動しません。 1 LAN のみ — 特殊な LAN 信号の場合のみ、システムが起動します。 1 WLAN のみ — 特殊な WLAN 信号の場合のみ、システムが起動します。 1 LAN または WLAN — 特殊な LAN、または WLAN 信号によって、システムが起動します。 <p>出荷時のデフォルト設定は、オフです。</p>
バッテリーチャージャーの動作	<p>バッテリーチャージャーを有効/無効に設定します。無効に設定した場合は、AC アダプターをシステムに接続すると、電力は失われませんが、充電もしません。</p> <p>デフォルト設定: チャージャーを有効</p>
ワイヤレスアダプター	システムのワイヤレスアダプター(ワイヤレス充電ステーションと組み合わせて使用する充電コイル)を有効/無効に設定します。

POST の動作	
オプション	説明
アダプターの警告	<p>このチェックボックスを使って、特定の電源アダプターを使用すると、BIOS の警告メッセージが表示される機能を有効/無効に設定します。設定に対して容量が小さすぎる電源アダプターを使用した場合、BIOS が警告メッセージを表示します。</p> <p>出荷時のデフォルト設定は、有効です。</p>
	このオプションでは、内蔵キーボードに埋め込まれたキーパッドを有効に設定する方法を選択できます。

キーパッド(埋め込み)	<ul style="list-style-type: none"> 1 Fn キーのみ — <Fn> キーを押した場合のみ、キーパッドが有効になります。 1 Num Lk (ナンバーロック) キーのみ — (1) Num Lock LED が点灯している、(2)外部キーボードが取り付けられていない場合、キーボードが有効になります。外部キーボードが取り外された場合、システムがすぐに検出できない場合もあります。 <p>セットアップを実行する場合、このフィールドの選択肢は影響ありません。セットアップは、Fn キーのみモードで動作します。</p> <p>出荷時デフォルト設定は、Fn キーのみです。</p>
Numlock LED	<p>このチェックボックスを使って、システム起動時に Num Lock LED を有効/無効にするよう設定します。</p> <p>出荷時のデフォルト設定は、有効です。</p>
USB エミュレーション	<p>オペレーティングシステムがUSB を認識しない場合、このオプションで BIOS による USB デバイスの処理方法を定義します。USB エミュレーションは POST 中、常に有効に設定されています。チェックボックスを使って、機能を有効、または無効に設定します。</p> <p>出荷時のデフォルト設定は、有効です。</p>
Fn Key エミュレーション	<p>このフィールドで、コンピューターの内蔵キーボードで <Fn> キーを使う場合と同様、外付 PS/2 キーボードの <Scroll Lock(スクロールロック)> を使用できるように設定します。チェックボックスを使って、機能を有効、または無効に設定します。</p> <p>Microsoft® Windows® XP など ACPI オペレーティングシステムを起動している場合、USB キーボードは <Fn> キーをエミュレートできません。USB キーボードは、ACPI モード以外(例: DOS を起動している場合など) の場合のみ、<Fn> キーをエミュレートします。</p> <p>出荷時のデフォルト設定は、有効です。</p>
Fast Boot(高速起動)	<p>このフィールドは、一部の互換性の手順をバイパスすることにより、起動プロセスをスピードアップすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 Minimal(最小限) — BIOS がアップデートされていない、メモリが変更されている、前回の POST が完了していない場合を除いて、スピーディに起動できます。 1 Through(スキップなし) — 起動プロセスの手順をスキップせずに実行します。 1 Auto(自動) — オペレーティングシステムで設定をコントロールできます(Simple Boot Flag(シンプル起動フラグ))をサポートしている場合のみ) <p>出荷時のデフォルト設定は、Minimal(最小限)です。</p>
Intel Fast Call for Help	<p>IAMT 4.0 と組み合わせて使用 会社のインフラ以外の場所にいる時も、ユーザーが管理コンソールにコンタクトできるようになります(離れた場所、Firewall、または NAT の陰など)。チェックボックスにチェックを入れて、この機能を無効/有効に設定します。</p>

Virtualization Support(仮想技術サポート)	
オプション	説明
Virtualization(仮想技術)	<p>Virtual Machine Monitor (VMM) で Intel® Virtualization Technology による追加ハードウェア機能を使用できるようにするには、このフィールドで設定します。チェックボックスを使って、機能を有効、または無効に設定します。</p> <p>出荷時のデフォルト設定は、Disabled(無効)です。</p>
ダイレクト I/O 用 VT	<p>Virtual Machine Monitor (VMM) でダイレクト I/O 用 Intel Virtualization Technology による追加ハードウェア機能を使用できるようにするには、このオプションで設定します。チェックボックスを使って、機能を有効、または無効に設定します。</p> <p>出荷時のデフォルト設定は、Disabled(無効)です。</p>
Trusted Execution(トラステッドエグゼキューション)	<p>Measured Virtual Machine Monitor (MVMM) で Intel Trusted Execution(トラステッドエグゼキューション)テクノロジーによる追加ハードウェア機能を使用できるようにするには、このオプションで設定します。この機能を使用するには、TPM、Virtualization Technology(仮想化技術)、Virtualization Technology for Direct I/O(ダイレクト I/O 用仮想化技術)をすべて有効にしてください。チェックボックスを使って、機能を有効、または無効に設定します。</p> <p>出荷時のデフォルト設定は、Disabled(無効)です。</p>

ワイヤレス	
オプション	説明
ワイヤレススイッチ	<p>チェックボックスを使って、ワイヤレススイッチでコントロールするワイヤレスデバイスを指定します。WWAN、WLAN、Bluetooth® のいずれかのオプションを選択します。</p>
ワイヤレスデバイス	<p>チェックボックスを使用して、各種デバイスを有効/無効に設定します。内蔵 WWAN、内蔵 WLAN、内蔵 Bluetooth のいずれかのオプションを選択します。</p>

メンテナンス	
オプション	説明
サービスタグ	<p>このフィールドにシステムのサービスタグが表示されます。なんらかの理由でサービスタグが設定されていない場合は、このフィールドで設定することもできます。</p> <p>お使いのシステム用にサービスタグが設定されていない場合は、BIOS を開くと、コンピューターが自動的に設定スクリーンを表示します。サービスタグを入力するダイアログが表示されます。</p>
アセットタグ	<p>このフィールドでシステムアセットタグを作成することができます。このフィールドは、アセットタグが設定されていない場合、アップデートだけを行います。</p>

システムログ	
オプション	説明
BIOS イベント	<p>このフィールドで、BIOS POST イベントを表示、および消去します。イベントの日付と時間、LED コードが含まれます。</p>
DellDiag イベント	<p>このフィールドでは、DellDiags、および PSA の診断結果を表示します。日付と時間、実行した診断とバージョン、結果コードが含まれます。</p>
サーマルイベント	<p>このフィールドで、サーマルイベントを表示、および消去します。日付と時間、イベントの名前が含まれます。</p>
電力イベント	<p>このフィールドで、電力イベントを表示、および消去します。イベントの日付と時間、電源状態と原因が含まれます。</p>

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

Diagnosics(診断)

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

- [デバイスステータスライト](#)
- [バッテリーステータスライト](#)
- [バッテリーの充電量と状態](#)
- [POST エラーのライトコード](#)

デバイスステータスライト

デバイスステータス LED はポータブルシステムで発生する一般的なトラブルを診断する際、信頼できるソースです。LED の位置はシステムによって異なりますので、各システムのトレーニンングページ(通常、「シャーン」のセクションにあります)で位置を確認してください。ポータブルプラットフォームで唯一共通しているのは、各 LED の示す情報とエラーの表示方法です。



コンピューターに電源を入ると点灯し、コンピューターが省電力モードに入っている際は点滅します。



コンピューターによるデータの読み書きの際に点灯します。



点灯または点滅によって、バッテリーの充電状態を示します。



ワイヤレスネットワークが有効になると点灯します。



Bluetooth® ワイヤレステクノロジーカードが有効になると点灯します。Bluetooth ワイヤレステクノロジー機能を無効にするには、システムトレイにあるアイコンを右クリックして **Bluetooth ラジオの無効化** を選択します。

バッテリーステータスライト

コンピューターがコンセントに接続されている場合、バッテリーライトは次のように動作します。

- 1. **橙色と青色ライトが交互に点滅** — 認定されていないまたはサポートされないデル以外の AC アダプターがノートブックコンピューターに接続されています。
- 1. **橙色と青色ライトが交互に点灯** — AC アダプターに接続されており、バッテリーに一時的な障害が発生しました。
- 1. **橙色ライトの点滅** — AC アダプターに接続されており、バッテリーに重大な障害が発生しました。
- 1. **消灯** — AC アダプターに接続されており、バッテリーがフル充電モードになっています。
- 1. **青色ライトの点灯** — AC アダプターに接続されており、バッテリーが充電モードになっています。

バッテリーの充電量と状態

バッテリーの充電量をチェックするには、バッテリー充電ゲージにあるステータスボタンを短く押して、充電レベルライトを点灯させます。各ライトはバッテリーの総充電量の約 20% を表します。例えば、バッテリーの充電残量が 80% なら 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量がありません。

バッテリーの性能をチェックするには、バッテリー充電ゲージのステータスボタンを 3 秒以上押し続けます。どのライトも点灯しない場合、バッテリーの状態は良好で、初期の充電容量の 80% 以上を維持しています。各ライトは状態低下の割合を示します。ライトが 5 つ点灯した場合、バッテリーの充電容量は 60% 以下になっていますので、バッテリーを交換することをお勧めします。

POST エラーのライトコード

テンキーライト、Caps Lock ライト、スクロールロックライトも、POST エラーの問題の診断に使用されます。

表示	説明	次の手順
	SODIMM が取り付けられていません。	<ol style="list-style-type: none">サポートされているメモリモジュールを取り付けます。メモリが取り付け済みの場合は、各スロットのモジュールを 1 度に 1 枚ずつ取り付け直します。別のコンピューターで動作確認済みのメモリを取り付けてみるか、またはメモリを交換します。システム基板を取り付けます。
	システム基板エラーです。	<ol style="list-style-type: none">プロセッサを取り付け直します。システム基板を取り付けます。プロセッサを交換します。
	LCD パネルエラーです。	<ol style="list-style-type: none">LCD ケーブルを取り付け直します。LCD パネルを交換します。ビデオカードまたはシステム基板を交換します。
		<ol style="list-style-type: none">互換性のあるメモリモジュールを取り付けます。

	<p>メモリの互換性エラーです。</p>	<ol style="list-style-type: none"> メモリが 2 枚取り付けられている場合は、1 枚を取り外してテストします。もう一方のモジュールを同じスロットに取り付けてテストします。両方のモジュールを使用してもう一方のスロットをテストします。 メモリを交換します。 システム基板を取り付けます。
<p>点灯 - 点滅 - 点灯</p> 	<p>メモリが検出されましたがエラーがあります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> メモリを取り付け直します。 メモリが 2 枚取り付けられている場合は、1 枚を取り外してテストします。もう一方のモジュールを同じスロットに取り付けてテストします。両方のモジュールを使用してもう一方のスロットをテストします。 メモリを交換します。 システム基板を取り付けます。
<p>消灯 - 点滅 - 点滅</p> 	<p>モデムエラーです。</p>	<ol style="list-style-type: none"> モデムを取り付け直します。 モデムを交換します。 システム基板を取り付けます。
<p>点滅 - 点滅 - 点滅</p> 	<p>システム基板エラーです。</p>	<ol style="list-style-type: none"> システム基板を交換します。
<p>点滅 - 点滅 - 消灯</p> 	<p>オプション ROM エラーです。</p>	<ol style="list-style-type: none"> デバイスを取り付け直します。 デバイスを交換します。 システム基板を交換します。
<p>消灯 - 点灯 - 消灯</p> 	<p>ストレージデバイスエラーです。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ハードドライブと光学ドライブを取り付け直します。 ハードドライブのみ、および光学ドライブのみでコンピューターをテストします。 障害の原因となっているデバイスを交換します。 システム基板を交換します。
<p>点滅 - 点滅 - 点灯</p> 	<p>ビデオカードエラーです。</p>	<ol style="list-style-type: none"> システム基板を交換します。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

部品の追加および交換

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

- [バッテリー](#)
 - [アクセスパネル](#)
 - [Bluetooth® ワイヤレステクノロジー搭載の内蔵カード](#)
 - [スピーカー](#)
 - [WWAN カード](#)
 - [電源コネクタ](#)
 - [ディスプレイ](#)
 - [ヒートシンクアセンブリ](#)
 - [充電コイル](#)
 - [ヒンジカバー](#)
 - [ハードドライブ](#)
 - [コイン型バッテリー](#)
 - [ワイヤレス LAN カード](#)
 - [ネットワークコネクタ](#)
 - [システム基板](#)
 - [UWB カード](#)
 - [ワイドエリアネットワーク\(WLAN\)カードコネクタ](#)
 - [キーボードとパームレストアセンブリ](#)
-


[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

仕様

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル


- [プロセッサ](#)
- [メモリ](#)
- [通信](#)
- [オーディオ](#)
- [キーボード](#)
- [バッテリー](#)
- [指紋リーダー](#)
- [外形寸法](#)
- [システム情報](#)
- [ポートとコネクタ](#)
- [ビデオ](#)
- [ディスプレイ](#)
- [タッチパッド](#)
- [AC アダプター](#)
- [環境](#)

 **メモ:** 提供される内容は地域により異なる場合があります。お使いのコンピューターの構成に関する詳細を確認するには、**スタート** (Windows® XP の場合は**スタート**) → **ヘルプとサポート**をクリックし、コンピューターの情報を表示するオプションを選択します。

プロセッサ	
プロセッサの種類	Intel® Core™ 2 デュオプロセッサ 超低電圧
フロントサイドバスの周波数	800 MHz
L2 キャッシュ	3 MB

システム情報	
システムチップセット	モバイル Intel GS45 Express チップセット
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	デュアルチャネル(2) 64 ビット
プロセッサアドレスバス幅	36 ビット
PCI バス	32 ビット

メモリ	
メモリモジュールコネクタ	システム基板上に半田付けされたメモリ
メモリモジュールの容量	2 GB および 4 GB 固定設定
メモリのタイプ	DDR3 SODIMM
最小メモリ	2 GB
最大搭載メモリ	4 GB

ポートとコネクタ	
オーディオ	ステレオヘッドフォンとスピーカーコネクタ
ミニカード	WLAN 専用ハーフサイズミニカードスロット x 1 WWAN / GPS 専用フルサイズミニカードスロット(モバイルブロードバンド) x 1
ネットワークアダプター	RJ-45 コネクタ
USB	4 ピン 2.0 準拠コネクタ x 2  メモ: USB コネクタのうち 1 つは eSATA コネクタとして使用可能。 PowerShare USB コネクタは、コンピューターが電源オンまたはオフの状態でも USB デバイスに電力供給可能です。
ビデオ	旧バージョンのアダプター付き DisplayPort コネクタ

通信	
ネットワークアダプター	システム基板上に 10/100/1000 Ethernet LAN
ワイヤレス	内蔵 WLAN、WWAN、および Bluetooth®、および UWB ワイヤレスサポート (オプションカードを購入の場合)

ビデオ	
タイプ	システム基板内蔵
データバス	内蔵ビデオ
ビデオコントローラー	Intel® グラフィックスメディアアクセラレーター
ビデオメモリ	最大 256 MB の共有メモリ

オーディオ	
オーディオタイプ	2 チャンネルハイディフィニションオーディオコーデック
オーディオコントローラー	IDT 92HD81B
ステレオ変換	24 ビット(ステレオ、DA 変換) 24 ビット(ステレオ、DA 変換)
インタフェース:	
内蔵	HD オーディオ
外付け	ステレオヘッドフォンとスピーカーコネクタ
スピーカー	4 Ω スピーカー x 1
内蔵スピーカーアンプ	2 ワットチャンネル(4 Ω)
ボリュームコントロール	ボリュームコントロールボタンおよびプログラムメニュー

ディスプレイ	
タイプ(アクティブマトリクス TFT)	HD+
アクティブ X/Y	198.45 mm x 352.8 mm
外形寸法:	
高さ	214 mm
横幅	365 mm
対角線	406.4 mm
最大解像度	262,000 色で 1600 × 900
動作角度	0°(閉じた状態) ~ 140°
リフレッシュレート	60 Hz
表示角度(水平)	55°
ピクセルピッチ	0.2588
消費電力 (背面ライト付きパネル)	7.0 W(最大)

キーボード	
キー数	83(米国と中国)、84(ヨーロッパ)
レイアウト	QWERTY/AZERTY

タッチパッド	
X/Y 位置解像度 (グラフィックステーブルモード)	240 CPI
寸法:	
横幅	91.0 mm のセンサー感知領域
高さ	46.7 mm の長方形

バッテリー	
タイプ	「スマート」リチウムイオン 4 セル(40 WHr) 8 セル(80 WHr)
外形寸法:	
4 セルバッテリー	
奥行き	36.11 mm
高さ	20.10 mm
重量	250.6 g
8 セルバッテリー	
奥行き	57.31 mm
高さ	21.00 mm
重量	475.7 g
電圧	
4 セルリチウムイオンバッテリー	14.8 VDC
8 セルリチウムイオンバッテリー	14.8 VDC
温度範囲	
動作時	0 ~ 35°C
保管時	-40 ~ 60°C
コイン型バッテリー	CR-2032

AC アダプター	
入力電圧	100 ~ 240 VAC
入力電流(最大)	1.5 A
入力周波数	50 ~ 60 Hz
出力電流	2.31 A
出力電力	45 W
定格出力電圧	19.5 VDC
外形寸法:	16 x 50 x 90 mm
温度範囲	
動作時	0 ~ 40°C
保管時	-40 ~ 70°C

指紋リーダー(オプション)	
タイプ	UPEK TCS3 TouchStrip™ ストリップセンサー、CMOS アクティブ静電容量ピクセル感知テクノロジー搭載

外形寸法	
高さ	
4 セル	20.10
8 セル	21.00 mm
横幅	
高さ	14.55 ~ 20.1 mm
横幅	396.34 mm
奥行き	272.25 mm
重量	2 kg

環境	
温度範囲	
動作時	0 ~ 35°C
保管時	-40 ~ 65°C
相対湿度(最大)	
動作時	10 ~ 90%(結露しないこと)
保管時	5 ~ 95%(結露しないこと)
最大振動(ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラム使用時)	
動作時	0.66 GRMS
保管時	1.3 GRMS
高度(最大)	
動作時	-5.2 ~ 3048 m
保管時	-15.2 ~ 10,668 m
空気中浮遊汚染物質レベル	G2、または ISA-S71.04-1985 が定める規定値以内

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

バッテリー

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。

バッテリーの取り外し



メモ: 以下の図を表示するには、Adobe.com で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. バッテリーリリースラッチをアンロック位置までスライドさせます。
3. バッテリーをコンピューターから取り外します。

バッテリーの取り付け

バッテリーを取り付ける場合は、上記の手順を逆に行ってください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

ヒンジカバー

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。

ヒンジカバーの取り外し



メモ: 以下の図を表示するには、Adobe.com で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. 右のヒンジカバーをコンピューターに固定しているネジを外します。

3. 右のヒンジカバーをコンピューターから取り外します。

4. 左のヒンジカバーについても同じ手順を繰り返します。

ヒンジカバーの取り付け

ヒンジカバーを取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

キーボードとパームレストアセンブリ

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。



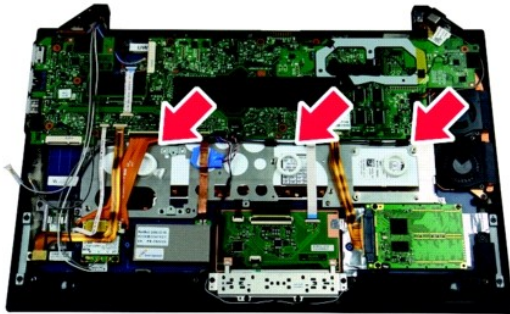
キーボードとパームレストアセンブリの取り外し

メモ: キーボードとパームレストアセンブリは一体型のアセンブリで、コンピューターのメイン構造です。お使いのコンピューターは、すべての部品をキーボードとパームレストアセンブリにマウントするよう設計されています。

1. [コンピューター内部の作業を始める前](#)の手順に従います。
2. コンピューターから**バッテリー**を取り外します。
3. コンピューターから**アクセスパネル**を取り外します。
4. コンピューターから **WLAN カード**を取り外します。
5. コンピューターから **WWAN カード**を取り外します。
6. コンピューターから **ディスプレイアセンブリ**を取り外します。
7. コンピューターから **ハードドライブ**を取り外します。
8. 必要であれば、コンピューターから **充電コイル**を取り外します。
9. コンピューターから **システム基板**を取り外します。

注意: キーボードとパームレストアセンブリのサービスキットには、内部シャーシをサポートするフォームリングが3つ付属しています。フォームリングを取り付けない場合、コンピューターを損傷する可能性があります。

10. 古いキーボードとパームレストアセンブリに付属のフォームリングで設定を調べ、同じパターンで新しいフォームリングを新しいアセンブリに取り付けます。



キーボードとパームレストアセンブリの取り付け

キーボードとパームレストアセンブリを取り付ける場合は、上記の手順を逆に行ってください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

アクセスパネル

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。

アクセスパネルの取り外し



メモ: 以下の図を表示するには、Adobe.com で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
4. 小型のアクセスタアをコンピューターに固定している拘束ネジを緩めます。
5. アクセスタアをコンピューターから取り外します。
6. アクセスタアベイの内側にあるネジを取り外します。
7. SIM カードが取り付けられている場合は、取り外します。
8. バッテリーウエルでアクセスパネルをコンピューターに固定している拘束ネジを外します。
9. 右側のヒンジアセンブリのネジを外します。
10. アクセスパネルをコンピューターに固定しているネジを外します。
11. アクセスパネルをコンピューターから取り外します。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

ハードドライブ

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。

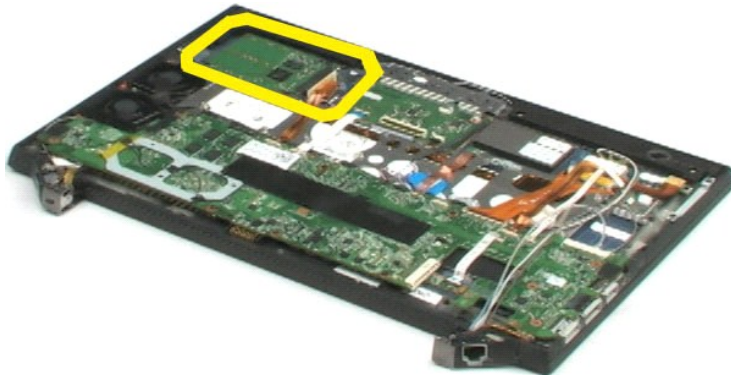
メモ: 以下の図を表示するには、Adobe.com で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

- [プライマリハードドライブの取り外し](#)
- [プライマリハードドライブの取り付け](#)
- [セカンダリハードドライブの取り外し](#)
- [セカンダリハードドライブの取り付け](#)

プライマリハードドライブの取り外し



1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。




5. システム基板のスピーカーコネクタからハードドライブケーブルを外します。
6. プライマリハードドライブをコンピューターに固定しているネジを外します。
7. プライマリハードドライブを持ち上げてコンピューターから取り出します。

プライマリハードドライブの取り付け

プライマリハードドライブを取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

セカンダリハードドライブの取り外し



 **メモ:** 以下の図を表示するには、[Adobe.com](https://www.adobe.com) で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。
5. 白いコネクタから 2 つの灰色のタブを外に向かって引っ張り、コネクタから Bluetooth® モジュールケーブルを外します。

6. Bluetooth モジュールケーブルをシステム基板のコネクタからゆっくり引っ張って、取り外します。

7. 白いコネクタから 2 つの灰色のタブを外に向かって引っ張り、コネクタから バイオメトリックリーダーケーブルを外します。

8. バイオメトリックリーダーケーブルをシステム基板のコネクタからゆっくり引っ張って、取り外します。

9. セカンダリハードドライブからセカンダリハードドライブケーブルを外します。

10. ハードドライブをコンピューターに固定しているネジを外します。

11. セカンダリハードドライブをリボンケーブルの下でスライドさせ、コンピューターから取り出します。

セカンダリハードドライブの取り付け

セカンダリハードドライブを取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

Bluetooth® ワイヤレステクノロジー搭載の内蔵カード

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。



Bluetooth モジュールの取り外し

メモ: 以下の図を表示するには、Adobe.com で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. [ピンジカバネ](#)をコンピューターから取り外します。
4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。
5. Bluetooth モジュールケーブルをシステム基板から外します。

6. Bluetooth モジュールをコンピューターに固定しているネジを外します。

7. Bluetooth モジュールをコンピューターから取り外します。

Bluetooth モジュールの取り付け

Bluetooth モジュールを取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

コイン型バッテリー

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制遵守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。



コイン型バッテリーの取り外し

メモ: 以下の図を表示するには、Adobe.com で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。
5. スピーカーケーブルをシステム基板のコネクターから取り外します。

6. コイン型バッテリーケーブルをシステム基板のコネクターから取り外します。

7. 平らな錫のケーブルアセンブリの下からコイン型バッテリーを外し、コンピューターからバッテリーを取り出します。

コイン型バッテリーの取り付け

コイン型バッテリーを取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

スピーカー

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制遵守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。



スピーカーの取り外し

メモ: 以下の図を表示するには、Adobe.com で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。
5. システム基板からスピーカーケーブルを外します。

6. 右スピーカーを固定しているネジを外します。

7. スピーカーを持ち上げながらコンピューターから取り外し、コンピューターの隣に置きます。

8. 左スピーカーを固定しているネジを外します。

9. スピーカーを持ち上げながらコンピューターから取り外し、コンピューターの隣に置きます。

10. スピーカーアセンブリをコンピューターから取り外します。

スピーカーの取り付け

スピーカーを取り付ける場合は、上記の手順を逆に行ってください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

ワイヤレスラジエリアネットワーク(WLAN)カード

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。



WLAN カードの取り外し

メモ: 以下の図を表示するには、Adobe.com で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。
5. アンテナケーブルを WLAN カードから取り外します。

6. WLAN カードをコンピューターに固定しているネジを外します。

7. 45°の角度をつけながらコンピューターから WLAN カードを取り外します。

WLAN カードの取り付け

WLAN カードを取り付ける場合は、上記の手順を逆に行ってください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

ワイヤレス ワイドエリアネットワーク(WWAN)カード

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。



WWAN カードの取り外し

メモ: 以下の図を表示するには、Adobe.com で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。
5. アンテナケーブルを WWAN カードから取り外します。

6. WWAN カードをコンピューターに固定しているネジを外します。

7. 45°の角度をつけながらコンピューターから WWAN カードを取り外します。

WWAN カードの取り付け

WWAN カードを取り付ける場合は、上記の手順を逆に行ってください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

ネットワークコネクター

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。



ネットワークコネクターの取り外し

メモ: 以下の図を表示するには、Adobe.com で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。
5. コネクターをコンピューターヒンジに固定しているネジを外します。

6. ネットワークコネクターカバーをヒンジから取り外します。

7. ネットワークコネクターケーブルをシステム基板から外します。

8. ネットワークコネクターをコンピューターから取り外します。

ネットワークコネクターの取り付け

ネットワークコネクターを取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

電源コネクター

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。



電源コネクターの取り外し

メモ: 以下の図を表示するには、Adobe.com で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。
5. 電源コネクターをコンピューターに固定しているネジを外します。

6. 電源コネクターカバーをコンピューターヒンジから取り外します。

7. 電源コネクターケーブルをシステム基板から外します。

8. 電源コネクターをコンピューターから取り外します。

ディスプレイアセンブリの取り付け

ディスプレイアセンブリを取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

システム基板

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。

メモ: 以下の図を表示するには、Adobe.com で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

● [Latitude ON なしのシステム基板の取り外し](#)

● [Latitude ON なしのシステム基板の取り付け](#)

● [Latitude ON 付きのシステム基板の取り外し](#)

● [Latitude ON 付きのシステム基板の取り付け](#)

Latitude ON なしのシステム基板の取り外し



1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
 2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
 3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
 4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。
 5. ハードドライブとタッチパッドケーブルをシステム基板から取り外します。
 6. ワイヤレススマートカード、コイン型バッテリー、スピーカーケーブルをシステム基板のコネクターから取り外します。
 7. 指紋リーダー、Bluetooth®、ワイヤレスカードケーブルをシステム基板のコネクターから取り外します。
 8. ポリュームコントロール基板ケーブルをシステム基板のコネクターから取り外します。
 9. アンテナケーブルを WWAN カードのコネクターから取り外します。
 10. アンテナケーブルをコンピューターの配線バスから取り外します。
 11. ネットワークインターフェースケーブルをシステム基板のコネクターから取り外します。
 12. 残りのアンテナケーブルをコンピューターに固定しているテープを外し、コンピューターからアンテナケーブルを取り外します。
 13. 電源コネクターケーブルをシステム基板のコネクターから取り外します。
 14. システム基板をコンピューターシャーシに固定しているネジを取り外します。
 15. システム基板を注意しながら裏返し、コンピューターシャーシの上に置きます。
- 注意:** 一部のケーブルはシステム基板の下に取り付けられたままになっています。
16. ディスプレイパネルケーブルをシステム基板のコネクターから取り外します。
 17. 必要であれば、カメラケーブルをシステム基板のコネクターから取り外します。

18. システム基板をコンピューターから取り外します。

Latitude ON なしのシステム基板の取り付け

システム基板を取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

Latitude ON 付きのシステム基板の取り外し



1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。
5. ハードドライブとタッチパッドケーブルをシステム基板から取り外します。

6. コイン型バッテリー、スピーカー、WLAN、Bluetooth®、指紋リーダー、ボリュームコントロール基板ケーブルをシステム基板のコネクターから取り外します。

7. ワイヤレスカードアンテナを WWAN カードのコネクターから取り外します。


8. アンテナケーブルをコンピューターの配線バスから取り外します。

9. SDIO 基板のコネクターからアンテナを取り外します。

10. システム基板をコンピューターシャーシに固定しているネジを取り外します。

11. 残りのケーブルをコンピューターから取り外します。

15. システム基板を注意しながら裏返し、コンピューターシャーシの上に置きます。

 **注意:**一部のケーブルはシステム基板の下に取り付けられたままになっています。

11. ネットワークインターフェースケーブルをシステム基板のコネクターから取り外します。

14. LVDS ケーブルをシステム基板のコネクターから取り外します。

15. カメラケーブルをシステム基板のコネクターから取り外します。

16. 電源ケーブルをシステム基板のコネクターから取り外します。

18. システム基板をコンピューターから取り外します。

Latitude ON 付きのシステム基板の取り付け

Latitude ON 付きのシステム基板を取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

UWB カード

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。



UWB カードの取り外し

メモ: 以下の図を表示するには、Adobe.com で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
 2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
 3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
 4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。
 5. アンテナを UWB カードから外します。
-
8. UWB カードをシステム基板に固定しているネジを外します。
-
9. コンピューターから UWB カードを取り外します。

UWB カードの取り付け

UWB カードを取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

ヒートシンクアセンブリ

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制遵守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。



ヒートシンクアセンブリの取り外し

1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。
5. コンピューターから[システム基板](#)を取り外し、清潔で水平な作業台の上に置きます。
6. ヒートシンクファンケーブルとシステム基板のコネクターをカバーしているテープを注意しながら取り外します。

7. ヒートシンクファンケーブルをシステム基板のコネクターから取り外します。

8. システム基板を裏返します。

9. ヒートシンクアセンブリをシステム基板に固定しているネジを外します。

10. ヒートシンクアセンブリをシステム基板から取り外します。

ヒートシンクの取り付け

ヒートシンクを取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

WLAN カードコネクター

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制遵守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。



WLAN カードコネクターの取り外し

1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
 2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
 3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
 4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。
 5. WLAN コネクターをコンピューターに固定しているネジを外します。
-
6. コネクターアセンブリをコンピューターから取り外します。

WLAN カードコネクターの取り付け

WLAN カードを取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

ワイヤレス充電コイル

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。



ワイヤレス充電コイルの取り外し

メモ: 以下の図を表示するには、Adobe.com で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

1. [「コンピューター内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
4. [アクセシビリティパネル](#)をコンピューターから取り外します。
5. 充電コイルをシステム基板に固定している 2 本のケーブルを外します。

6. 充電コイルをシステム基板に固定しているネジを外します。

7. コンピューターから充電コイルを取り外します。

ワイヤレス充電コイルの取り付け

ワイヤレス充電コイルを取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

ディスプレイ

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ(www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。

メモ: 以下の図を表示するには、Adobe.com で Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

- [ディスプレイベゼルの取り外し](#)
- [ディスプレイパネルの取り外し](#)
- [ディスプレイアセンブリの取り外し](#)
- [ディスプレイヒンジの取り外し](#)
- [ディスプレイベゼルの取り付け](#)
- [ディスプレイパネルの取り付け](#)
- [ディスプレイアセンブリの取り付け](#)
- [ディスプレイヒンジの取り付け](#)

ディスプレイベゼルの取り外し



1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. 指を使って内側の端からベゼルをゆっくと取り出し、ディスプレイアセンブリからベゼルを取り外します。
4. ディスプレイベゼルの裏返し、エッジタッチセンサーリボンケーブルが表に出るようにします。
5. 白いコネクターの端にある灰色のタブを引き、コネクタからリボンケーブルを外します。
6. プラスチックのタブを引き、システム基板のコネクタからリボンケーブルを外します。
7. ディスプレイベゼルをコンピューターから取り外します。

ディスプレイベゼルの取り付け

ディスプレイベゼルを取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

[トップに戻る](#)

ディスプレイパネルアセンブリの取り外し



1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. [ディスプレイベゼル](#)をコンピューターから取り外します。
4. ディスプレイパネルアセンブリをコンピューターに固定しているネジを外します。
5. ディスプレイパネルアセンブリを注意しながら裏返し、パームレストの上に置きます。

6. ディスプレイパネルの裏側からディスプレイケーブルコネクタをカバーしているテープを取り外します。
7. ディスプレイケーブルの下の接着テープを外します。
8. ディスプレイパネルアセンブリからディスプレイケーブルを取り外します。
9. コンピューターからディスプレイパネルアセンブリを取り外し、清潔な作業台の上に置きます。
10. 1 つ目のディスプレイブラケットをディスプレイパネルに固定しているネジを取り外します。
11. 1 つ目のディスプレイブラケットをディスプレイパネルから取り外します。
12. ディスプレイパネルアセンブリを180度回転させます。
13. 2 つ目のディスプレイブラケットをディスプレイパネルに固定しているネジを取り外します。
14. 2 つ目のディスプレイブラケットをディスプレイパネルから取り外します。

ディスプレイパネルアセンブリの取り付け

ディスプレイパネルアセンブリを取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

[トップに戻る](#)

ディスプレイアセンブリの取り外し



1. 「[コンピューター内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。
5. [システム基板](#)をコンピューターから取り外します。
6. ディスプレイアセンブリを左側のヒンジの近くにあるパームレストに固定しているネジを外します。
7. ディスプレイアセンブリを右側のヒンジの近くにあるパームレストに固定しているネジを外します。
8. ディスプレイアセンブリからパームレストアセンブリを持ち上げながら取り外します。

ディスプレイアセンブリの取り付け

ディスプレイアセンブリを取り付ける場合は、上記の手順を逆に実行してください。

[トップに戻る](#)

ディスプレイアセンブリヒンジの取り外し



1. [「コンピューター内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
 2. [バッテリー](#)をコンピューターから取り外します。
 3. [ヒンジカバー](#)をコンピューターから取り外します。
 4. [アクセスパネル](#)をコンピューターから取り外します。
 5. ディスプレイベゼルをコンピューターから取り外します。
 6. ディスプレイパネルをディスプレイアセンブリから取り外します。
 7. コンピューターからディスプレイアセンブリを取り外し、清潔で水平な作業台に置きます。
 8. ディスプレイアセンブリを右のディスプレイヒンジに固定しているネジを取り外します。
-
9. ディスプレイヒンジを持ち上げながら、ディスプレイアセンブリから取り外します。
-
10. ワイヤがあれば引き抜き、1 つ目のディスプレイヒンジを取り外します。
-
11. 上記の手順を繰り返して、2 つ目のディスプレイヒンジを取り外します。
-
12. 2 つ目のディスプレイヒンジを持ち上げながら、ディスプレイアセンブリから取り外します。

ディスプレイアセンブリヒンジの取り付け

ディスプレイアセンブリヒンジを取り付ける場合は、上記の手順を逆に行ってください。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)

コンピューターでの作業

Dell™ Latitude™ Z600 サービスマニュアル

- [コンピューター内部の作業を始める前に](#)
- [推奨するツール](#)
- [コンピューターの電源を切る](#)
- [コンピューター内部の作業の後に](#)

コンピューター内部の作業の後に

コンピューターへの損傷を防ぎ、ご自身を危険から守るため、次の安全に関する注意事項に従ってください。特に指示がない限り、本書に記されている各手順では、以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 1 「[コンピューターでの作業](#)」の手順をすでに完了していること。
- 1 コンピューター付属の安全にお使いいただくための注意事項を読んでいること。
- 1 部品は交換可能であること。また、別途購入した部品は、取り外しの手順を逆に行うことで取り付け可能であること。

警告: コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属している安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制遵守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

注意: 修理 (内部作業) の多くは、認可を受けたサービス技術員のみが対応します。お客様は、製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくはテレホンサービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うことができます。デルに認可されていない修理 (内部作業) による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属のマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

注意: 静電気放電を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的にコンピューターの裏面にあるコネクタなどの塗装されていない金属面に触れたりして、静電気を除去します。

注意: コンポーネントおよびカードは、慎重に扱います。カードのコンポーネントや接点には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持つてください。プロセッサのようなコンポーネントは、ピンの部分ではなく端を持つようにしてください。

注意: ケーブルを外す際には、ケーブルそのものを引っ張らず、コネクタまたはそのプルタブを持って引き抜いてください。ケーブルによっては、ロックタブ付きのコネクタがあります。このタイプのケーブルを取り外すときは、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを抜く際には、コネクタピンを曲げないように、まっすぐ引き抜いてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタの向きが正しいことを確認してください。

メモ: お使いのコンピューターの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

コンピューターの損傷を防ぐため、コンピューター内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。

1. コンピューターのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピューターの電源を切ります (「[コンピューターの電源を切る](#)」を参照)。
3. コンピューターがオプションのメディアベースやバッテリースライスのドッキングデバイスに接続されている場合は、ドッキングを解除します。

注意: ネットワークケーブルを取り外すには、まずケーブルのプラグをコンピューターから外し、次にネットワークデバイスから外します。

4. コンピューターからすべてのネットワークケーブルを外します。
5. コンピューター、および取り付けられている全てのデバイスをコンセントから外します。
6. ディスプレイを閉じ、平らな作業台の上でコンピューターを裏返します。

注意: システム基板の損傷を防ぐため、コンピューターで作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

7. メインバッテリーを取り外します (「[バッテリー](#)」を参照)。
8. コンピューターを表向きに戻します。
9. ディスプレイを開きます。
10. 電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。

注意: 感電防止のため、ディスプレイを開く前に必ず、コンピューターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意: コンピューター内部の部品に触れる前に、コンピューター背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を除去してください。作業中も、塗装されていない金属面に定期的に触れて、内部コンポーネントを損傷するおそれのある静電気を除去してください。

11. ExpressCard またはスマートカードが取り付けられている場合は、各スロットから取り外します。
12. ハードドライブを取り外します (「[ハードドライブ](#)」を参照)。

推奨するツール

このドキュメントで説明する操作には、以下のようなツールが必要です。


- 1 小型のマイナスドライバー
- 1 #0 プラスドライバー
- 1 #1 プラスドライバー
- 1 小型のプラスチックスライブ
- 1 フラッシュ BIOS アップデートプログラムの CD

コンピューターの電源を切る

注意: データの損失を防ぐため、開いているすべてのファイルを保存してから閉じ、実行中のすべてのプログラムを終了してから、コンピューターの電源を切ります。

1. オペレーティングシステムをシャットダウンするには、次の手順を実行します。

- 1 Windows Vista® の場合:

スタート  をクリックして **スタートメニュー**の右下の次に示す矢印をクリックし、**シャットダウン** をクリックします。



1 Windows® XP の場合:

スタート→ **終了オプション**→ **電源を切る** の順にクリックします。

オペレーティングシステムのシャットダウン処理が完了すると、コンピュータの電源が切れます。

2. コンピューターとすべての周辺機器の電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンした際にコンピューターおよび取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、電源ボタンを 6 秒以上押し続けて電源を切ります。

コンピューター内部の作業の後に

交換(取り付け)作業が完了したら、コンピュータの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルなどを接続したか確認してください。

△ 注意:コンピューターの損傷を防ぐため、必ず本製品専用のバッテリーを使用してください。他の Dell コンピューター用のバッテリーは使用しないでください。

1. ポートリプリケータ、バッテリースライス、メディアベースなどの外付けデバイスを接続し、ExpressCard などのカードを取り付けます。

△ 注意:ネットワークケーブルを接続するには、ケーブルを最初にネットワークデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。

2. 電話線、またはネットワークケーブルをコンピュータに接続します。
3. [バッテリー](#)を取り付けます。
4. コンピューター、および取り付けられているすべてのデバイスを電源に接続します。
5. コンピューターの電源を入れます。

[目次に戻る](#)